

# 0歳の予防接種スケジュール

## ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日

0歳の赤ちゃんをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、生後2か月になったらできるだけ早くワクチンを受けることが大切です。ワクチンの種類、接種回数が多いので、かかりつけの医師と相談のうえ同時接種で受けましょう。

ワクチン名	接種済み ☑	誕生											1歳				
		1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月					
不活化ワクチン  B型肝炎 任意	<input type="checkbox"/>		①	②													
生ワクチン  ロタウイルス (2回接種) 任意	<input type="checkbox"/>		①	②													
不活化ワクチン  ヒブ 任意	<input type="checkbox"/>		①	②	③												④
不活化ワクチン  小児用肺炎球菌 任意	<input type="checkbox"/>		①	②	③												④
不活化ワクチン  三種混合 (DPT) 定期	<input type="checkbox"/>			①	②	③											④
生ワクチン  BCG 定期	<input type="checkbox"/>				①												
生ワクチン  ポリオ 定期	<input type="checkbox"/>																

ロタウイルス・ヒブ・小児用肺炎球菌・三種混合の必要回数を接種するためには、同時接種で受けることが重要です

1歳代の追加接種を忘れずに受けましょう

個別接種の場合はヒブ・小児用肺炎球菌・三種混合などと同時接種で受けられます

2012年度中に国が不活化ポリオワクチンを導入する方針です

不活化ワクチン 注射・スタンプ式

生ワクチン 経口

同時接種 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。日本小児科学会は乳幼児の接種部位として大腿外側部も推奨しています。くわしくはかかりつけ医にご相談ください。

※ロタウイルスワクチンについて/2回接種ワクチンは2011年7月に承認。3回接種ワクチンは承認申請中。

**定期** 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)

**任意** 多くは有料(自己負担)。ワクチンによっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

定期予防接種の対象年齢

任意接種の接種できる年齢

おすすめの接種時期(数字は接種回数)

●次にほかの種類のワクチンが接種できるのは、不活化ワクチン接種後は1週間後の同じ曜日から、生ワクチン接種後は4週間後の同じ曜日からです。

詳しい情報は <http://www.know-vpd.jp/>